

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	技術者倫理		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	平成16年度未開講		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>自らの業務に責任を負うことのできる専門職技術者となるためには、専門能力、業務遂行能力、行動原則遵守の能力を備えることが必要です。この講義では、技術者として遵守すべき倫理規範（技術者倫理）および機械制御を専門とするものにとって必須の専門能力である安全確保のための技術（機械安全）の2つのテーマを学びます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
2年次までの必修科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>必須教科書は設定しません。必要資料は教官が準備します。参考図書は、その都度紹介 します。</p>

【授業内容とその進め方】

下記内容を予定しています。

1. 技術者倫理
 - ・ 技術者倫理概説
 - ・ プロフェッショナルエンジニア（専門職技術者）と倫理
 - ・ 技術者倫理と社会の発展
 - ・ 特許と技術者倫理
 - ・ 製造物責任法と技術者倫理
 - ・ ケーススタディ：ロボット開発と技術者倫理
 - ・ ケーススタディ：自動車排ガス規制と技術者倫理
2. 機械安全技術
 - ・ 機械安全の国際規格
 - ・ 機械安全の工学（リスクアセスメント）
 - ・ 機械安全の工学（リスク低減方策）
 - ・ ロボットの安全

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎回のレポート、最後の全体レポートおよび出席点

【オフィスアワー：授業相談】

- 1) 毎回講義後
- 2) メール受け付け

【学生へのメッセージ】

これまでの技術者は所属組織（企業等）にのみ依拠し、社会に対して直接の責任を負うことはなかった。しかし、これからは、専門職技術者として所属組織と社会の双方に責任を負って業務を遂行することとなります。皆さんの学科の場合には、このような責任を負うためには、技術者の倫理という規範を学ぶことが非常に重要です。さらに、倫理規範の遵守にあたって、専門技術に関連して、自分が開発、設計する機械（ロボット）が人に災害を与えない、すなわち安全に機能させるための、機械安全技術を修得することが重要です。この2つのテーマを、この講義で学習しましょう。

【その他】

2006年度より開講致します。